

第 16 回神田警察通り沿道整備推進協議会 議事要旨

■日 時：令和 2 年 2 月 19 日（月）14：30～16：30

■会 場：千代田区役所 8 階第 1 委員会室

■出席者：

〔委員〕

●●会長・●●副会長・●●副会長

●●委員・●●委員・●●委員・●●委員・●●委員

●●委員・●●委員・●●委員・●●委員・●●委員

●●委員・大森委員（まちづくり担当部長）・印出井委員（景観・都市計画課長）

谷田部委員（道路公園課長）・佐藤委員（地域まちづくり課長）

〔委員代理〕

●●氏（●●委員代理）

〔オブザーバー〕

警視庁神田警察署 岡田交通課長

神保町出張所 小阿瀬所長・神田公園出張所 猿渡所長

松本環境まちづくり部長・須貝基盤整備計画担当課長

早川麴町地域まちづくり担当課長

神原神田地域まちづくり担当課長・武福祉施設整備担当課長

住友商事(株)・安田不動産(株)・(株)大林組

日鉄興和不動産(株)・NTT 都市開発(株)

〔事務局〕

地域まちづくり課・UR 都市機構

1. 開会

2. 議事

（1）前回議事要旨の確認

第 15 回神田警察通り沿道整備推進協議会議事要旨について事務局より説明

（2）神田警察通りの道路整備について

神田警察通りの道路整備について道路公園課より説明

【道路公園課】

●道路の形について

大型車両の違法駐車の問題を解決するために、交通管理者（警視庁）と協議した結果、停車帯の廃止とパーキングメーターの数を減らす案を提示した。

神田錦町 2 丁目にある交差点東側に横断歩道を新設する件について、警視庁と協議した結果、歩行者の利便性が低下することから設置は難しいという見解を説明した。

【委員】

- 靖国通りは大型車が停まっていないためすっきりしている。このように整備されれば、違法駐車も少なくなると思うので、計画案には賛成する。

【委員】

- 平面計画についてぜひ推進していきたいし、この計画で進めるからにはまず街並みをきれいにしていきたい。
- 神田警察通りの歩道が非常に暗いため、並木と照明がマッチした、夜でも快適に歩行ができるような計画にしてほしい。

【会長】

- 道路の形については完成とする。

【道路公園課】

- アンケートについて

令和元年12月から令和2年1月にかけてアンケートを実施した。

配付数4,704に対して680の回答（回答率14.5%）があった。

- 街路樹の取扱いについて

アンケート結果には、「歩道の幅を広げてほしい」、「自転車走行空間を整備してほしい」との意見が顕著に表れていた。

既存の樹木を残した場合、歩行者通行空間の幅員の基準を確保できない。

街路樹は「今のままで良い」という意見が29%、「植替えを含め課題解決してほしい」という意見が47%あった。また、協議会では花のなる木が良いとの意見もいただいている。

区としては、歩道を拡幅し、自転車走行空間を整えるため、街路樹を植え替えていくべきであると考えている。

既存の街路樹については、樹木医による移植適正度診断を行い、移植可能な樹木は移植を検討する。

新植する樹木は、今後当協議会でご議論いただき決定したい。

安全、安心を第一に考え、説明させていただいた方向で、来年度には道路整備に着手していきたい。

【委員】

- 共立から雉子橋までの区間がせっかくきれいになったが、イチョウの木が原因で広く見えない。今回もイチョウにしたら同じようになってしまう。
- 警察通り沿道に面している町会で検討し、新しくできる歩道に適した街路樹にしたい。

【委員】

- アンケート結果の「通行しにくい」が 60%というのは低すぎると思う。広いところをイメージして回答している人もいるのではないか。
- 街路樹をそのまま残すのは本当に不便。車椅子がすれ違えない、傘もさせない、そこに自転車がくると最悪な状況であり、これを改善してほしいというのは沿道の皆さんの意見だと思う。人優先の道にしてほしい。

【委員】

- 根本的に、街路樹自体必要なのか、というところから考えてもらいたい。

【基盤整備計画担当課長】

- 前々回、街路樹の役割を説明させていただいた。街路樹には景観向上機能、生活環境保全機能、緑陰形成機能がある。区としても、なるべく可能な箇所には植えていく。ただ、安全安心が第一であり、人が安全に歩ける道路を目指している。

【委員】

- 昔は通りの建物が低く、街路樹は日除けも兼ねて必要だったため、住んでいる人が落ち葉の清掃等を行っていた。今は建物が高くなったこともあり日除けの必要がなくなった。
- 身体障害者や車椅子の人がスムーズに通れる道路にしてほしい。

【会長】

- 様々な意見があったが、共通していたのは、人、特に身体障害者や車椅子の方、また自転車の通行が安全安心に出来ることをベースとした上で、道路整備を進めていかなければならないということ。
- 道路整備は当初の予定からだいぶ足踏みしている。来年度からの整備に向けて進めていければという方向性についても協議会として一致していると思う。
- 「ぜひ安全で安心な道路整備を進めてもらいたい」というご意見があったことを今日の協議会のまとめとする。

(3) 神田警察通り周辺まちづくり検討部会について

神田警察通り周辺まちづくり検討部会について事務局より説明

【事務局】

- 第1回、第2回の部会開催状況及び今後の進め方について説明。
- 部会では、マンション住民や在勤の方にどのようにまちに関わってもらえるかなど地域コミュニティに関することや、神田らしさを残すための方法についての意見が多くあった。

【委員】

- 部会の議論にあった「神田らしさ」は、旧町名を無くした時に無くなった。これからは新しいまちづくりをしてほしい。

- 横須賀米軍基地の前に整備された通りを見学した。日本一お金をかけた道路とのことだが、歩いている人がほとんどいなかった。近くにあった商業施設が潰れて、マンションしか建っていない。マンションはまちの活性化につながらない。
- 錦町は今マンションばかり建っているが、必要なのは地元が責任をもつ企業が再開発を行い、地域に貢献すること。
- 道路整備だけではなく、周辺の賑わいを含めてまちづくりのゴールにしてほしい。

【事務局】

- 町会が残っていることで、歴史、文化が継承していくところがあると感じている。継承してきた神田らしさのハード、ソフト面を部会で掘り下げていきたい。
- 部会では、神田警察通りだけでなく、もっと広い範囲の賑わいやまちづくりを検討してく。再開発を否定しているわけではなく、場所にあった再開発があると考えている。部会で取りまとめていきたい。

【委員】

- 町名を旧町名に戻したい。

(4) 駐車場の地域ルールを検討について

駐車場の地域ルールの検討について景観・都市計画課長より説明

【景観・都市計画課長】

- 検討経緯、概要、説明会について説明。
- 一昨年から、駐車場の適正配置の検討に取り組みたいという主旨で配置計画の検討が始まった。
- 道路が人中心の空間だとするウォークアブルシティの考えは神田のまちづくりと親和性が高いと考えている。
- 今後この駐車場の適正配置だけではなく、地区計画そのもののあり方についても併せて検討していく必要があると考えている。

【委員】

- 誰でも使える駐車場がどれだけあるのか。神田、神保町あたりには、少ないように感じしており、それは賑わいに関係してくると思う。千代田区は公共の駐車場がない。行政が整備する考え方もあるのではないか。

【景観・都市計画課長】

- 内神田地域は商業機能があるわけではないが、建物が更新されていく中で必要のない駐車場が増えてしまう。利用実態の調査をしたが、建物内の時間貸し駐車場はピーク時でも4割くらいしか使われていない。建物内の駐車場にわかりやすく誘導する仕組みをつくる必要がある。
- 千代田区という最も地価の高いエリアの中で行政が整備を行うことは難しい。区としては、地域特性に応じた駐車場の適切な運営と配置を図っていきたい。

3. その他

(1) 旧千代田保健所敷地の福祉施設整備について

(仮称) 神田錦町三丁目福祉施設整備基本計画(案)について、福祉施設整備担当課長より説明

【福祉施設整備担当課長】

- 経緯、理念・方針、予定整備施設、スケジュール等の基本計画について説明。
- 今年3月に基本計画案について、パブリックコメントを実施する予定。

【委員】

- 神田警察通りは整備されていくと思うが、錦町三丁目第一町会の道路は整備されていない。新しく整備された電大跡地開発の周り以外は全く整備されていない。電柱の地中化もされていない。福祉施設の開設する令和7年までに第一町会の道路も整備してほしい。

【基盤整備計画担当課長】

- 電線地中化は時間と地域の方々の覚悟も必要。その際にご協力頂きたい。

(2) (仮) 神田錦町二丁目計画内覧会の予定時期について

内覧会の予定時期について住友商事より説明

【住友商事】

- 2月に建物が竣工し、今後、店舗の内装工事を行う。1階の店舗は6月上旬開設予定で、スーパーや飲食店など13店舗が入る予定。2階はホール、5～21階はオフィスになり、入居する会社は全て決まった。今年いっぱい全ての引越しが完了する見込み。約5,000人程度の方が働くことになると思う。
- 6月前後に内覧のご案内をする予定である。建物周辺の芝生広場なども見ていただきたい。

4. 開会

【事務局】

- 次回の開催は令和2年4～5月ごろの予定。